

2025年8月3日(日)

日本キリスト教団 久宝教会

第68巻第16号(通算3453号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

小さくされている人を
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

平和聖日(聖霊降臨節 第8主日) 礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 102編 18-19節

賛美歌 21-425番「こすずめも、くじらも」(©JASRAC)

聖書 マルコによる福音書 7章 24-30節

お祈り

賛美歌 21-371番「このこどもたちが」(©JASRAC)

メッセージ「自身の中の差別する心」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-418番「キリストのしもべたちよ」(©讃美歌委員会)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り(交読文による)

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス(21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 102 編 18-19 節 (聖書協会共同訳)

¹⁸ 主はすべてを失った者の祈りを顧み

その祈りを軽んじませんでした。

¹⁹ このことは後の世代のために書き記されるべきです。

新たに創造される民は主を賛美するでしょう。

聖書 マルコによる福音書 7 章 24-30 節 (聖書協会共同訳)

²⁴ イエスはそこを立ち去って、ティルス¹の地方へ行かれた。ある家に入り、誰にも知られたくないと思っておられたが、人々に気付かれてしまった。²⁵汚れた^{けが}霊に取りつかれた幼い娘を持つ女が、すぐにイエスのことを聞きつけ、来てその足元にひれ伏した。²⁶ 女はギリシア人でシリア・フェニキアの生まれであった。そして、娘から悪霊^{あくれい}を追い出してくださいと頼んだ。²⁷ イエスは言われた。「まず、子どもたちに十分に食べさせるべきである。子どもたちのパンを取って、小犬に投げてやるのはよくない。」²⁸ 女は答えて言った。「主よ、食卓の下の小犬でも、子どものパン屑^{くず}はいただきます。」²⁹ そこで、イエスは言われた。「その言葉で十分である。行きなさい。悪霊はあなたの娘から出て行った。」³⁰ 女が家に帰ってみると、その子は床に^a横たわっており、悪霊は出てしまっていた。

(脚注 a：別訳「投げ出されており」)



《先週のメッセージより》2025年7月27日

「人間^{じんかん}に神とともにいます」より

牛田匡牧師

聖書 ヨマタイによる福音書 18章15-20節

「イエス様いるって本当かな？ 今でも『いる』って言うけれど。見たことないけれど」と子どもたちから質問されたら、何と答えることができるでしょうか。賛美歌「イエスさまいるってほんとかな」は、そんな問いを正面から取り上げた歌です。この歌の基になったのは、「マタイによる福音書」の巻末にあるイエス様の言葉「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」（28：20）だそうですが、イエス様は「私はいつも『あなた』と共にいる」ではなく、『あなたがたと共にいる』と言われました。人が独りでいる所ではなく、2人3人以上の人が集まっている所に、神様も共におられるということです。

目には見えない神様の不思議な力、働きというものを、私たちはいつどこで体験することが多いかということ、やはりそれは一人である時よりも、人と人との交わりの中で実感することの方が多くはないでしょうか。一人と一人の力は小さくても、2人3人と集まって一緒に何かを行う中で、1+1が2以上、3以上の働きをすることがあります。例えば、一緒に話すうちに、予想外に深く話をする事ができて、不思議と心が穏やかになって、慰められたり、励まされたりしたというような経験は、多かれ少なかれ、あるのではないのでしょうか。そのような時、「運が良かった」「偶然だった」と言うことも勿論できますし、また「恵まれた」「神様が共にいて下さった」と言うこともできるのだらうと思います。

「人間」と書いて、「にんげん」と読むのではなく、「じんかん」と読むと、広くは「世間」「世の中」の意味になるようですが、そのまま字の如く「人と人との間」という意味で理解することも許されるのではないかと思います。

「水平社宣言」の末文の言葉は、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」でした。「水平社宣言」が目指している差別され虐げられていた人たちが尊厳を回復し解放されていく世界、そこには紛れもなく、神もまた人々の間にあって共に働いておられるのだと思います。人と人との間、「人間(じんかん)」に今日も神が共にいます。そのことに信頼して、私たちもここから歩み出して参ります。そしてまた私たちが出会う方々との間で、神が共におられることを、示し、証していくことができるように、それぞれに小さな器として用いられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 7 月 27 日

礼拝出席 大人 7 人 子ども 1 人 献金 大人 6,250 円 子ども 500 円

中継視聴者数 7 回 感謝

昨日 8 月 2 日に予定されていた「縁農」は、酷暑が続いているために中止になりました。

◎次週 2025 年 8 月 10 日 (日) 聖靈降臨節 第 10 主日礼拝

招きの詞 詩編 107 編 4-9 節

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章14節－6章2節

メッセージ 「今こそ恵みの時、救いの時」 牛田匡牧師

賛美歌 21-476 番 (©教団)、21-451 番 (©教団)、こ改-34 番 (©塩田泉)

8月期の「教会を考える会」は休会です。次回は9月7日の開催予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。
また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。

- ・8月14日（木）釜ヶ崎夏祭りのために、いこいの家での「聖書を読む会」はお休みです。
次回は9月11日（木）の予定です。

- ・本日、13時半～16時にかけて、天満教会にて、平和記念講演・祈祷会「核兵器のない世界へ向かって 原爆投下からノーベル平和賞まで ～そしてこれから」が開催されます。講師は2024年ノーベル平和賞受賞 日本原水爆被害者団体協議会事務局次長の和田征子さんです。事前申込不要で参加無料です。どなたでもご参加ください。

- ・8月7日(木)13時半～17時半にかけて、キリスト教視聴覚教育講習会 AVACO ワークショップ in 東京が開催されます。2つの講座があり講座Aは「子どもと学ぶ、聖書の言葉 児童文学から味わう神様の愛」(講師:宮葉子さん)、講座Bは「子どもと守る音楽礼拝」(講師:小松澤恵さん)です。会場での対面参加は締め切られていますが、オンライン参加は、本日までが締め切り期限ですので、申込が可能です。全プログラム参加が7,000円。A・Bどちらかの講座のみの参加が4,000円です。詳細や参加申し込みは、AVACOのウェブサイトをご確認ください。

<https://avaco.info/76workshop/>



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/10	牛田匡牧師	
8/17	牛田匡牧師	
8/24	牛田匡牧師	おにぎり支援
8/31	牛田匡牧師	誕生者祝福式

平和記念講演・祈禱会

『核兵器のない世界へ向かって』
原爆投下からノーベル平和賞まで～そしてこれから』

2025年8月3日(日) 13:30～16:00

第1部: 13:30～ 講演会 第2部: 15:30～ 平和祈禱会
(第1部・第2部のみの参加もできます)

アジア・太平洋戦争終結、またヒロシマ・ナガサキ原爆投下より80年を数えるこの8月、
平和を求め続ける働きに励み、祈りを共にしましょう。なお、ご参加は無料です。

2024年ノーベル平和賞受賞
日本原水爆被害者団体協議会
事務局長・和田征子氏

1945年、1歳10ヶ月のとき長崎市の自宅にて被爆。
母院から当時の状況を知り、40歳の頃より被爆体験を語り始める。
長崎市水戸・高校・明治学院大学文学部英文科卒業。
2015年に日本被爆者事務局長就任。
2016年韓国国連本部、2017年ニューヨーク国連本部核兵器禁止条約
交渉活動に出席、発注。
2017年11月ベチラン法廷で行われたケラナシスコ・ローマ教皇に謁見。

【会場】
日本キリスト教団 天満教会
〒530-0045 大阪市東区天神橋西4-15
06-6361-6767
<https://www.tenma.or.jp>

【案内図】
天満教会

【主催】
日本キリスト教団 天満教会
日本キリスト教団 大阪中部地区

[illegible]